

## <略 歴>

一般財団法人 運輸総合研究所 特任研究員

東海大学海洋研究所 特任教授

大坪 新一郎(おおつぼ しんいちろう) 氏



1981年 福岡県立小倉高校卒

1985年 東京大学工学部船舶工学科卒

1987年 東京大学 修士(船舶工学)

1992年 ハーバード大学 修士(公共政策学)

2011年 東京大学 博士(環境学)

1987年運輸省入省(海上保安庁装備技術部船舶課)。1990～1992年、人事院長期在外研究員(米国留学)。1994～1998年に経済協力開発機構(OECD、仏パリ)出向、造船分野の政策協調に努めた。国土交通省海事局安全基準課や造船課にて、IMO(国際海事機関)における環境・安全分野の国際交渉や、造船産業政策の企画・立案に従事。

2005～2008年、日本貿易振興機構(JETRO)ロンドンに出向、IMOシップリサイクル条約の審議等に貢献。海事局安全基準課にてIMOが船舶燃費規制を導入する海洋汚染防止条約改正(2011年)を主導した。

2013年に海事局船舶産業課長、その後、技術審議官、次長を経て2019年、海事局長に就任。海事産業強化法を具体化し、法案成立に尽力。2021年7月、国土交通省を退官。

2021年9月より(一財)運輸総合研究所特任研究員を務める。2022年10月より東海大学海洋研究所特任教授を務め、静岡キャンパスにて講義を担当。2023年6月、(一財)日本舶用品検定協会会長に就任。